



## 実りある二学期に！

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。以前なら、「子どもたちの顔は真っ黒に焼けてまた小学校に戻ってきました。」なんて書いていたのですが、この頃は夏休みに外で遊んでいる子どもを見なくなりましたし、真っ黒に日焼けをしている子も少なくなりました。



両手にいっぱい作品を持って登校

でも、子どもたちは、楽しかった夏休みの報告をしてくれました。

親戚の家に行って、他の地方の暮らしを経験したり、知らない土地を旅行してよい経験をした子もいました。水泳で25メートルや50メートルを泳げるようになった子もいました。本をたくさん読んだり、日記をつけたり、花や虫の観察をして記録をつけたり、町の様子を調べてみたり、自分の手で工作をつくろうとがんばった子もいました。みんなみんな、たいへんすばらしい経験をしてきました。

2学期は、勉強や運動をするのに良い季節です。夏休みの経験を生かして、一層がんばりたいものです。2学期は、1年の内で一番行事も多いし、勉強にもがんばれる時です。行事には、それぞれの学年での社会科見学、作品展、南小フェスタなど様々な行事が目白押しで、それだけ子どもたちが大きく成長する時期だと言えます。残暑がしばらくは厳しいでしょうが、暑さに負けずしっかりと頑張りたいものです。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

### こんなお手紙をいただきました

8月12日から23日まで能登川博物館で「学校エコ活動巡回展」が行われましたが、その時のアンケート用紙が送られてきましたので紹介しましょう。

『能登川南小の実践に感動しました。地域ぐるみであること、実際に多くの人々（子ども・先生・地域の方々）が行動されているところが特にすばらしい！！今後も推進されることを期待しています。この実践は、能登川地区の住民の誇りでもあります。』

### PTA愛校作業 ありがとうございました！

8月30日は、PTA愛校作業にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、見違えるほどきれいになり、すっきりした気分です。2学期をスタートすることができました。ありがとうございました。

# 10月・11月・12月の行事予定

## 10月



## 11月



## 12月



1日(木) 3年校外学習	2日(月) 森林再生プロジェクト	2日(水) 地区児童会
2日(金) 2年校外学習	4日(水) 全校朝会	11日(金) 大そうじ
市科学発表会	6日(金) 猪子山活動	16日(水)17日(木)18日(金)21日(月)
3日(土) 6年親子フォーラム	11日(水) 授業参観	期末懇談会
8日(木) 1年校外学習	PTAひびきあい	21日(月) 給食終了
9日(金) 市陸上記録会	21日(土) PTA南小フェア	22日(火) 終業式
14日(水) スクール農園収穫	19日(木) マラソン大会	24日(木)～ 冬休み
16日(金) 地区音楽会(3年)	25日(水) 創立記念鑑賞会	
22日(木) 5年校外学習	27日(金) 1年幼稚園交流会	
23日(金) 音楽集会練習公開		
24日(土) 2年親子フォーラム		
26日(月) 音楽集会(祖父母学級)		



都合により日程等が変更になる場合がありますので、各月の学年通信等でお確かめください。

今年も運動会の季節がやってきました。近年の小学校での運動会は、「スポーツフェスタ」などと名前を変えたり、その内容も1学期から取り組んできたものやスポーツテスト的になっている学校もあるようです。しかしながら、今なお昔ながらの運動会を行っている学校が多いのは、保護者の方や地域の方たちとの関わりが深い行事であるからです。運動会といえば、こんなお話を思い出します。

『私の孫はね、運動がからっきし駄目なんです。走り競争してもいつもビリッコでしてね。この間の幼稚園の運動会でも、やっぱりビリッコを走っていたそうです。途中で孫の前を走っていた子どもが転んだんだそうです。そしたら孫の奴、転んだ友達が起き上がって走り出すのを待っていてやって、まためでたくビリッコになったんです。親も親で、そのことを喜んで話してくれましてね。ハハハ・・・』

さも嬉しそうに話してくださったおじいさんの笑顔が、今も心に残っています。

人を蹴飛ばしてでも、先へ出ようとする人の多い今の世の中で、『あんた馬鹿ね！転んだのを幸いに追い抜いてゆけばみじめなビリッコの思いをしなくてもすんだんじゃないの！』と言いかねない親の多い中で、そのあたたかく、汚れなく、純なる心を、そっと大切に見守り育ててやろうとしてくださる両親やおじいちゃんの姿は、転んだ子どもが起き上がるのを待っていてやるお孫さんの姿と共に、なんともうれしい光景です。

一般世間のモノサシは、たとえばマラソンならいかに早く走るとか、いかに能率よく仕事ができるかというところにあるけれど、別のモノサシもあると思います。

ウサギと亀が走り競争をしたという昔話がありますが、亀がウサギに勝ったというけれど、どんなに走っても、ふつうに走ったら亀がウサギに勝てるはずはありません。ウサギが怠けて昼寝をしていたから、亀が勝つことができたのです。

そのことにどれだけ努力を払ったかというモノサシで測れば、ビリッコの亀が1番ということになります。1番2番という序列や結果よりも、その中身に何が盛られているかということのほうが大切ですし、その過程が大切ということではないでしょうか。1番2番より素晴らしいビリッコもあるということではないでしょうか。

どこに視点を置くか、考えてみたいものですね。

